



待ちくたびれた日曜日

井口昭久

4月の水曜日、お昼に車でスーパーへ一人

で行った。買い物客がゆっくり歩いていて。

入り口近くの広場のような場所です。「野菜いっぱいラーメン」を新聞を読みながら食べた。

薄曇りのためか室内はいつもより暗かった。

小さいテレビがあった。震災で行方不明の夫を探す妻が映っていた。瓦礫の中を黙々と探していた。

隣の席で、老夫婦が黙ってラーメンを食べていた。

スーパーの二階にはCDの売り場があった。団塊の世代が買うのか古い時代のCDが多く置いてあった。1960年代の世界のスーパー

ーヒット100選というCDを買った。

帰りの車の中で聞くと、「恋は水色」「そよ風にのって」などの歌が英語やフランス語で歌われていた。

日本語で歌う歌が一つだけ入っていた。最初、分かりやすい英語だと思ったが、日本語であった。

髪も綺麗にとかしたし／靴もピカピカ光ったし／あなたの好きな香水も／探して買っておいなのに／待ちくたびれた日曜日

と歌っていた。ギリシャ出身のアイドルであったヴィッキーが日本語で録音して、1967年にヒットしたと解説にあった。

待ちくたびれた日曜日という題名だった。

たどたどしい日本語である。初めて聞く歌だったが、私たちの過ごした青春時代の雰囲気があった。家に帰ってインターネットで調べたところYahooの検索ネットで1万件以上でできた。小園江圭子の作詞であることが分かった。

犬もお風呂に入ったし／小鳥の籠も塗り替えた

あの当時、犬をお風呂に入れたり、小鳥を飼っていた家の娘さんのお話のようであった。Sさんを思い出した。70歳代の中頃で、若い頃は私と同じように美男であった。読書家で博識だった。晩年は歩行障害があり、優しい奥さんと一緒にいることが多かった。

この歌の流行っていた時代、Sさんも私も哀愁の青春時代であった。

あなたの好きなアネモネも／ほど良く咲かせておいたのに／待ちくたびれた日曜日／今日もまた会えないのかな

おとといの金曜日に

Sさんが亡くなった。昨日お通夜に行った。

中学生や高校生と思われる孫たちが並んで椅子に座っていた。Sさんから孫と旅行に行ったことを聞いていた。皆、涙を流していた。

その中の一人のセーラー服の女の子が丁寧にお辞儀をして焼香をしていた。

美しい奥さんが涙を堪えていた。

お通夜の帰りの車の中であの歌を聞いた。テールかけも取り換えて／お菓子もこんがり焼きあがり／貴方が好きなあの歌も／みんな覚えておいたのに／待ちくたびれた日曜日／日曜日



ウバユリ